



東京外国語大学  
Tokyo University of Foreign Studies

# 国際社会学部 新入生オリエンテーション

---

2026年4月1日@プロメテウスホール

9:30-11:30

# 全体の構成

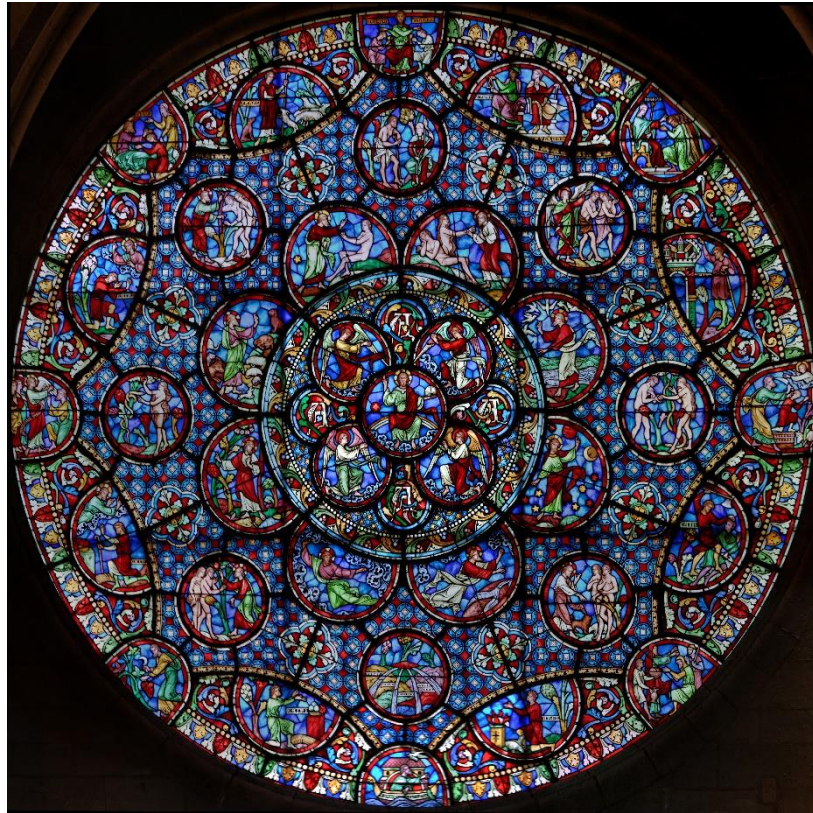
---

1. 学部長挨拶・学部執行部の紹介
2. 教務関連ガイダンス
3. 学生生活についての注意点



トビタくん

# 1-1. 学部長挨拶



## 学部長 千葉敏之 (ヨーロッパ中世研究)



2023.04.13  
「イタメル・ウィエフ・ジュニオール花博賞」『冊がった冊』一冊がった冊』ラジナル文字にもたらされた新語 - A novidade de Torto arado na literatura brasileira  
入場料 0円 (先着500名) (定員500名) (150分)



2023.04.15  
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第2回) 『世界を学ぶ、世界史を学ぶ』  
入場料 0円 (先着500名) (定員500名) (150分)



2023.04.22  
TUFU Cinema 南アジア映画特集『ムンナ兄貴とカンティ』  
入場料 0円 (先着500名) (定員500名) (150分)



2023.05.13  
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第3回) 『世界の言葉に触れてみよう!』「28言語で読む『星の王子さま』」  
入場料 0円 (先着500名) (定員500名) (150分)



2023.06.03  
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第3回) 『大から目線で楽しむチベット文学 - 『ハバチを育てる話』を中心に』  
入場料 0円 (先着500名) (定員500名) (150分)



2023.06.17  
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第4回) 『イスラームのいま - 写真に見るその多様な姿』  
入場料 0円 (先着500名) (定員500名) (150分)



2023.09.02  
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第5回) 『ブラック・ライヴズ・マターから学ぶ』  
入場料 0円 (先着500名) (定員500名) (150分)



2023.10.14  
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第6回) 『職業としての通訳 - 通訳の世界』  
入場料 0円 (先着500名) (定員500名) (150分)

# 1-2. 学部執行部の紹介

---

学部長：千葉 敏之（ヨーロッパ中世研究）地域社会研究コース

副学部長：加藤 美帆（教育社会学）現代世界論コース

学部長補佐：

伊東 剛史（イギリス近代研究）地域社会研究コース

上原 こずえ（社会学）現代世界論コース

木村 暁（中央アジア史）地域社会研究コース

倉田 明子（中国・香港近現代史）地域社会研究コース

# 『履修案内』『歩き方』『相談窓口ガイド』 を手元に用意してください

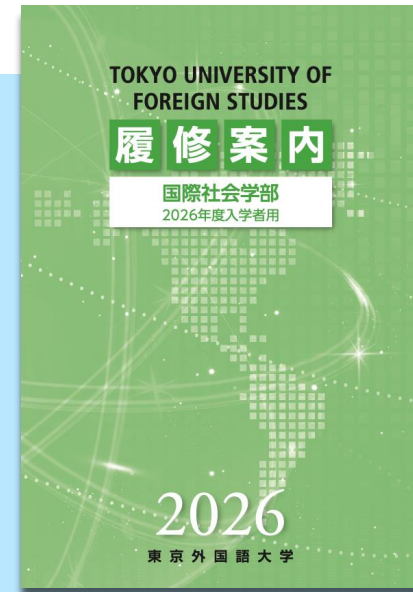


オリエンテーションの投影資料は、  
「大学ホームページ」→「教務関連まとめページ」  
→「**学部別新入生オリエンテーション**」  
から入手できます。

教務関連まとめページ (2026年度)

- 2026年度始めの行事予定
- 2026年度履修案内等
- 履修相談コーナー
- ICCアカウントの発行手続きについて
- 学籍情報システムについて
- オンライン授業について
- 学部別新入生オリエンテーション
- 履修関連動画・資料 (新入生向け)
- 教科書の購入について
- 授業・試験における合理的配慮について
- 教務関連の主なお問い合わせ一覧





## 2. 教務関連ガイダンス

### 2-1. カリキュラムと履修について



# TUFSクォーター制度

1年間を4つの学期に分ける、多様な授業・プログラム



春学期

4月～  
8月上旬

夏学期

8月上旬  
～9月中旬

秋学期

9月下旬～  
2月上旬

冬学期

2月上旬  
～中旬

春学期・秋学期

必修授業の多くが開講される基幹学期

夏学期・冬学期

集中講義、**短期留学**、インターンシップ、  
ボランティア活動など

# 授業を履修する

- **単位**とは・・・「45時間の学修を必要とする内容」

言語科目 = 1単位、講義科目 = 2単位

所定の単位を取得すること = **進級や卒業の要件**

- 卒業に必要な単位（卒業所要単位）：**125単位以上**

- 成績評価と**G P A**（p.22）**S, A, B, C / F**で評価（F = 60点未満：**不合格**）

成績評価を数値化したものが**G P A**（Grade Point Average）

留学等の選抜に用いられる場合も。成績は、授業での到達度やテスト、レポートの点数で決まる

- 出席の取り方

授業について毎回記述する**レスポンスシート**などを使って行うことが多い。

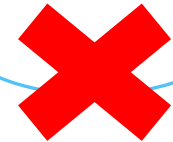
評価の対象ではないが、出席していないと課題の提出や授業についていけず、単位を落とすことに。

# 履修登録が必要！

- 履修する授業は履修登録期間に自分で登録  
(必修の授業もあらかじめ登録されている訳ではない)
- 登録せずに出席していても単位は認定されない  
※「基礎リテラシー」「基礎演習」も自分で登録！
- 登録した後の修正→「履修修正期間」に行なう

※再履修可能科目、反復履修可能科目 (p.23-)

履修登録忘れたけど  
出席してれば大丈夫??



履修登録をしていないと  
単位は認められません！



進級要件??

履修案内  
p.26

# 授業科目の種類と4年間の履修イメージ

科目区分	年次 学期	第1年次		第2年次		単 位 数 進 級 要 件	第3年次		第4年次		単 位 数 ※1 卒 業 所 要
		春・夏学期	秋・冬学期	春・夏学期	秋・冬学期		春・夏学期	秋・冬学期	春・夏学期	秋・冬学期	
基礎科目	基礎リテラシー					1					1
	基礎演習					2					2
教養科目	教養科目※2										16以上
言語科目	専攻言語科目※4					15※3					36以上
	諸地域言語科目										
	教養外国語科目										
	GLIP 英語科目										
地域科目	地域基礎科目					6					6以上
導入科目	導入科目					8※5					8以上
概論科目	概論科目										6以上※6
専門科目	講義・専門演習										24以上※7
	専門演習（本ゼミ）										4
	卒業研究演習										4
	卒業研究										8
	関連科目。										0以上
卒業所要単位											125

世界教養  
プログラム

※他学部と共通

専修プログラム

※国際社会学部独自

関連科目??

## 2-2. 授業の履修について

—1年生は世界教養プログラムが中心

---

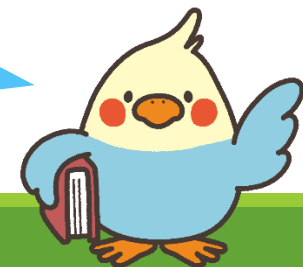


# 進級要件—3年生への登竜門

2年次末までに以下の要件を満たさないと3年生に進級できない。

専攻言語	15単位以上〔履修方法は専攻言語ごとの指示に従う〕
地域基礎	6単位以上〔専攻地域で指定された授業〕
基礎リテラシー	1単位
基礎演習	2単位
導入科目	8単位以上〔所属するコースの授業を2単位以上含む〕

進級要件は2年次の春学期が終わったら  
全て満たせていることを目指そう！！



# 専攻言語—1・2年次教育の土台

専攻言語科目は専攻した者だけが履修できる。1年次に10単位履修する。

- ・英語 (北アメリカ、北西ヨーロッパ)
- ・ドイツ語
- ・フランス語
- ・イタリア語
- ・スペイン語
- ・ポルトガル語
- ・ロシア語
- ・中国語
- ・朝鮮語
- ・アラビア語

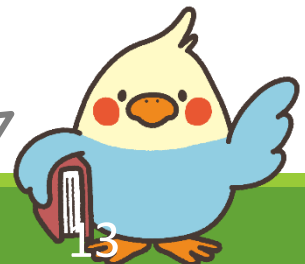
1年次に10単位  
一括認定  
(非モジュール)

非モジュール：専攻言語の単位を1年生で10単位修得しないと、2年生の地域言語が履修できず、進級要件を満たせない

- ・ポーランド語
- ・チェコ語
- ・ウズベク語
- ・モンゴル語
- ・インドネシア語
- ・マレーシア語
- ・フィリピン語
- ・タイ語
- ・ラオス語
- ・ベトナム語
- ・カンボジア語
- ・ビルマ語
- ・ウルドゥー語
- ・ヒンディー語
- ・ベンガル語
- ・ペルシア語
- ・トルコ語
- ・アフリカ地域
- ・オセアニア地域

1単位ごとに認定  
(モジュール)

専攻言語の履修方法は、  
12:30～の説明会で確認しよう！



# 地域基礎科目

進級要件

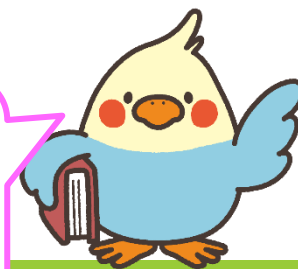
履修案内  
表紙裏のQRコード

各自が専攻する地域についての理解を深めるための授業。6単位必修。  
各地域の文化・社会について総合的に学ぶことを目的としています。  
専攻地域・専攻言語によって履修する授業の指定があります。

※大学HPに掲載されている「2025年度 地域基礎科目の履修上の注意」を必ず参照してください。『履修案内』にQRコード有り。

北アメリカ地域専攻だけど、ロシアの地域基礎も  
取りたいなあ・・・

専攻地域以外の地域基礎も卒業単位に入ります。  
ただし、進級要件を満たすには専攻地域で指導された地域基礎  
で6単位必要です。



# 基礎リテラシー・基礎演習

進級要件

履修案内  
p.39

大学での学びの基礎・方法

## ■「基礎リテラシー」 (春学期)

春学期 木曜 1 限 オンライン (1 単位)

## ■「基礎演習」 (秋学期)

秋学期 火曜 1 限か木曜 1 限 (2 単位)

※春学期中に「履修方法についての案内」が出ます

大学生としての生活、大学での学び方、レポートの書き方などの基礎を学ぶ 1 年次の必修授業。

どちらも 1 年生の必修科目！

# GLIP (グリップ)

グローバル人材育成プログラム (Global Linkage Initiative Program)

履修案内  
p.45

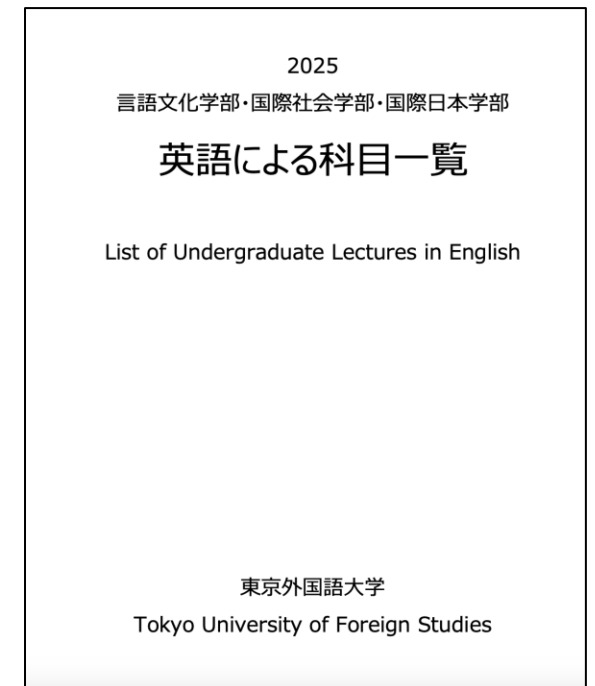
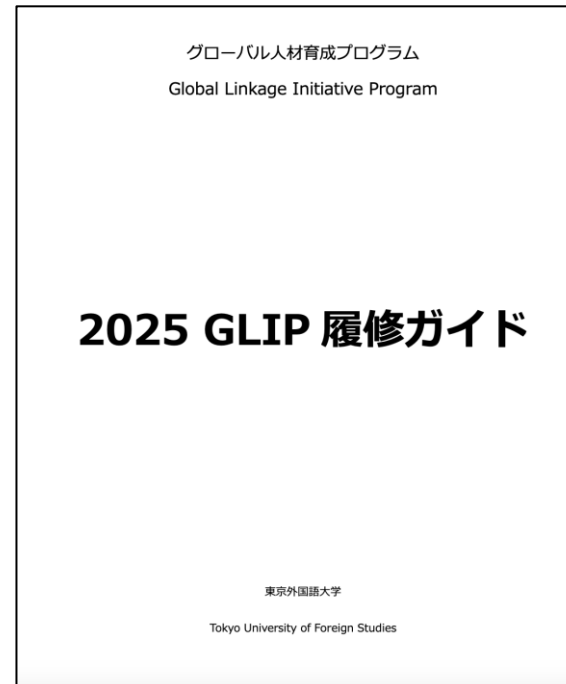
「GLIP英語科目」：語学の授業としての英語の授業

「英語による科目」：教養科目／専修プログラムの講義を英語で受ける・・・

👉『GLIP履修ガイド』

👉オリエンテーション動画 (大学HP)

<https://www.youtube.com/watch?v=6RYIiFbISyk>



# 教養外国語

## マルチリンガルへの道

履修案内  
p.45

- ◆ 教養外国語の履修は2年生からがオススメ
- ◆ 教養外国語科目：ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語。いずれもA（初級レベル）とB（中級レベル）の二つのレベルを設定。
  - （ただし、初めて学ぶ言語の場合はA、Bの同時履修は好ましくありません。また、1年で1言語あたり4単位まで履修できます）
- ◆ 履修方法の詳細についてはそれぞれの言語の担当教員の指示にしたがってください。

★多くの専攻地域では、GLIP英語または教養外国語を選択必修に指定しています。選択必修とする場合、その言語の単位習得にはルールがあります。

# 教養科目

## 多分野と広い視野

履修案内  
p.39-

卒業までに **16単位**以上履修。

進級要件ではないが、多様な分野に触れることのできる授業群。

英語による授業、他大学・他機関との連携授業も多数。

授業によっては履修年次が限定されているので、それぞれの担当教員の指示にしたがってください。

- 現代教養科目
- 自然科学系科目
- 教養日本力科目
- 世界言語科目
- スポーツ身体科目
- キャリア・協働科目
- 臨地学修科目（スタディツアー）

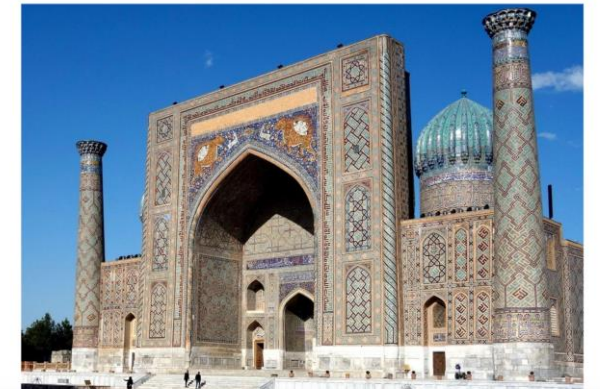


### ウズベキスタン・スタディツアー説明会

日時：2025年11月4日（火）

昼休み 11:50~12:30（昼食持込可）

場所：331教室



# 「関連科目」とは??

- 言語文化学部、国際日本学部の授業も取りたい!

(※教職課程や、日本語教師養成プログラムでは他学部の授業を履修する必要有り)

- 他大学の授業も取ってみたい! (他大学との連携: 一橋大学、東京農工大学、電気通信大学、武蔵野音楽大学、お茶の水女子大学、沖縄大学etc...) →履修案内p.68-



国際社会学部の学生だけど、  
言語文化学部の導入科目「言語研究入門」や、国際日  
本学部の導入科目「日本史入門」も履修したいなあ・・・!

→卒業単位に「関連科目」として算入されます。

# 海外留学制度

長短を組み合わせて自分なりの経験を

履修案内  
p.60-

## 留学の種類

□短期留学（ショートビジット）：夏・冬学期の3～6週間…1年次から可

→夏学期ショートビジット説明会4/9, 4/10 (11:50～12:30)

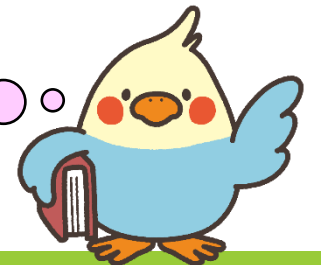
「ショートビジット」<https://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>

□派遣（交換）留学制度：3カ月以上1年以内…主に3年次以降

□休学留学制度：6カ月～1年…主に3年次以降60単位まで振替認定可)

留学先の大学でとった授業の単位も卒業単位  
にいれることができます！

※留学申請時に手続きが必要。



# 特色ある授業——問題関心・キャリア形成

- 他機関・他大学との連携授業 : JICA, JETRO, 東京農工大学、電気通信大学など
- 公務員試験対応授業
- 多文化共生に関する授業
- AI・データサイエンスに関する授業
- 日本語教師養成プログラム
- 教職課程



パンフレットや案内  
冊子があります！



# 2-3. 専修プログラムとゼミ選択

## —国際社会学部独自のカリキュラム

---



# 国際社会学部の3コース

歩き方  
p.6-

—専修プログラムの授業は全てどれかのコースと関連している



## 地域社会研究コース

対象とする地域の時間軸(歴史)と空間軸(地図)を柔軟な視点で捉える方法を身につけ、地域にかかわりながらそのリアルを学ぶコースです。

歴史学・地域研究

## 現代世界論コース

• 哲学、政治学、社会学、ジェンダー論、レイシズム・スタディーズなどのオーソドックスかつ最先端の研究に触れながら、現代世界の諸問題を批判的に考察する方法を学ぶコースです。

## 国際関係コース

• 社会科学の方法論を体系的に学び、法学、政治学、経済学、国際協力論などの学問分野を専門的に学修し、国際社会を生き抜く知的技術を身につけるコースです。

# 専修プログラム

履修案内  
p.46-

—「導入科目」「概論科目」「専門科目」の三段階

科目区分	授業科目	履修年次	必要単位	
導入科目		1～2年次	8+	所属コースの授業を2単位以上含む
概論科目		2年次～	6+	所属コースの授業を4単位以上含む
専門科目	講義	2年次秋～	24+	所属コースの授業を12単位以上含む
	専門演習	3年次～		
	専門演習（本ゼミ）	3年次～	4	指導教員のゼミ
	卒業研究演習	4年次	4	

大学での学びの集大成として  
卒業論文を執筆して卒業！

地域社会  
研究コース

現代世界論コース

国際関係コース



# 導入科目 コースの専門性への入口

進級要件

歩き方  
p.6

- ・2年次修了までに**8単位以上**修得すること
- ・うち**最低2単位**は所属するコースの授業を含むこと

地域社会  
研究コース

現代世界論コース

国際関係コース

今年の春は「国際関係コース」と「現代世界論コース」の導入、  
秋は「地域社会研究コース」の導入を取って、来年の春に行き  
たいコースの導入を取ると8単位取れるな～

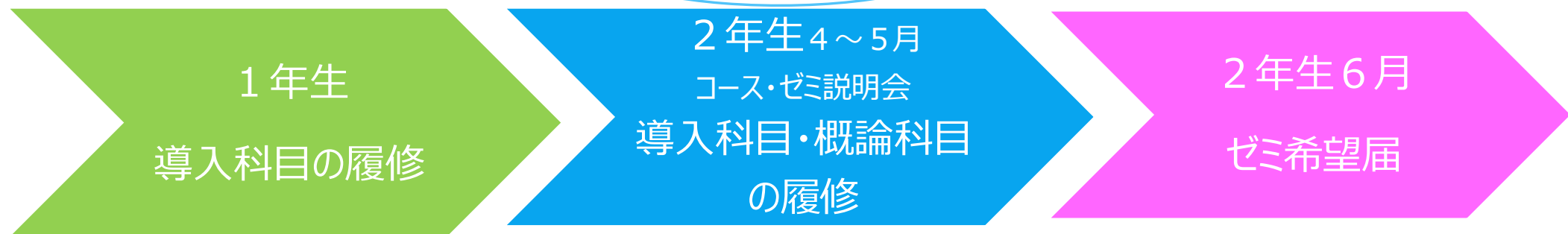


3コースで開講される専修プログラムの1～2年生対象の授業。  
それぞれのコースで、バランスよく履修し進みたいコースについて1年生のうちから考えておこう。1年生春学期は、興味のある分野からまずは1～2コマ履修してみよう。

# コース・ゼミの決定プロセス

— 2年次春学期終了（7月）には**所属コース/ゼミ**が決定

興味のあること、専門的に学びたいことは何だろう？  
2年生になってコースとゼミを選ぶように、1年生の  
うちから考えるようにしておこう。



1年生のうちから、**進みたいコース・ゼミ**を意識して授業を履修しよう

『歩き方』 p.29～各教員の専門の紹介、 p.15～先輩方による一部のゼミの紹介

# 卒業所要単位——授業をどう組み立てるか？

授業科目区分	授業科目	進級要件 ※9	標準的な履修年次	北西ヨーロッパ・北アメリカ地域の学生		ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語(ロシア地域)、中国語、朝鮮語、アラビア語を専攻言語とする学生		ポーランド語、チェコ語、モンゴル語、インドネシア語、マレーシア語、フィリピン語、タイ語、ラオス語、ベトナム語、カンボジア語、ビルマ語、ウルドゥー語、ヒンディー語、ベンガル語、ペルシア語、トルコ語を専攻言語とする学生		中央アジア地域(ロシア語・ウズベク語)の学生		アフリカ地域の学生		オセアニア地域の学生	
				1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
世界教養プログラム	基礎科目	基礎リテラシー	○	第1年次春学期	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		基礎演習	○	第1年次秋学期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	教養科目	教養科目	—	第1年次～第2年次	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上
		言語科目	専攻言語科目I	○	第1年次	10	10	10	10	20	10	14	16	16	16
	専攻言語科目II		○	第2年次	10	10	10	10	4	12	—	—	—	—	
	専攻言語科目(ウズベク語)		○	第2年次～第4年次	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	専攻言語科目III		—	第3年次～第4年次	必修8	選択必修2	—	—	—	—	—	—	—	—	
	GLIP英語科目 ※1		—	第1年次～第4年次	—	2以上	—	—	—	—	—	—	—	—	
	教養外国語科目 ※1		—	第1年次～第4年次	必修6 ※2	—	必修6 ※2	—	—	—	—	—	—	—	
	諸地域言語科目	—	第1年次～第4年次	—	※3	—	—	—	—	—	—	—	—		
地域科目	地域基礎	○	第1年次 ※専攻(言語)によって異なります。	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上		
専修プログラム	導入科目	○	第1年次	所属するコースの科目を2単位含む	8以上	所属するコースの科目を2単位含む	8以上	所属するコースの科目を2単位含む	8以上	所属するコースの科目を2単位含む	8以上	所属するコースの科目を2単位含む	8以上		
	概論科目	—	第2年次	所属するコースの科目を4単位含む	6以上	所属するコースの科目を4単位含む	6以上	所属するコースの科目を4単位含む	6以上	所属するコースの科目を4単位含む	6以上	所属するコースの科目を4単位含む	6以上		
	専門科目	講義・専門演習	—	第2年次秋学期～第3年次	所属するコースの講義・専門演習を12単位含む	24以上	所属するコースの講義・専門演習を12単位含む	24以上	所属するコースの講義・専門演習を12単位含む	24以上	所属するコースの講義・専門演習を12単位含む	24以上	所属するコースの講義・専門演習を12単位含む	24以上	
		本ゼミ ※6	—	第3年次	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		卒業研究演習	—	第4年次	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
卒業研究	卒業研究	—	第1年次～第4年次	8	8	8	8	8	8	8	8	8			
関連科目	関連科目 ※7	—	第1年次～第4年次	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上			
卒業所要単位		—	—	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8			

# 履修のポイントまとめ

1. **時間割**を詰め込みすぎない！ ☆大学の授業は**予習・復習・課題**がもれなくついてくる
2. **進級に関わる必修科目**は特に注意
3. 専攻言語と地域基礎は担当教員の指示に従い、「**履修の注意**」の通りに履修しましょう
4. **導入科目**はバランスよく学んでください
5. **教養外国語**は2年生から履修がおすすめ（専攻言語が英語など既習言語の場合は1年次から）

## 卒業に向けたポイント まとめ

1. **言語科目**の卒業所要単位は**36単位以上**
2. 必修のGLIP英語／教養外国語は取り方にルール
3. 必修の言語以外に一定数の選択必修の語学の単位を修得する必要
4. 導入・概論・専門科目は所属コースの科目から一定数の単位を修得
5. 自分の入学年度の履修案内にしたがって履修
6. 所要の125単位ピッタリで卒業しようとしな



## 2-4. 履修上の注意事項

---



# 成績判定（評定）

シラバスでしっかり確認

履修案内

p.22-

## ■ 成績判定

定期試験、レポート、授業内試験、アクティブラーニング  
など（各授業での指示をシラバスや教場で確認）

## ■ 「成績に関する問合せ」と「異議申し立て」（p.23）

成績に疑問がある場合は、所定の手続きを通して、定められた期間内であれば、  
問合せや異議申し立てができる。教員の手違いということもまれにはあるので、日ご  
ろから自分でしっかりと管理すること。

# 不正行為

取り返しのつかない事態にならないよう

履修案内  
p.16, 49-

## ◆試験における不正 p.16

試験：筆記型定期試験、授業内試験、オンライン試験などのすべて

☆試験のルールは各授業ごとに定められます（持ち込み可・不可）

カンニング、代理受験はもちろん、試験実施中の情報交換や許可されていない物品の持ち込みなども不正行為になります

## ◆提出課題における不正 p.49-

盗用 = 提出する論文やレポートで、他人の論文や記述を、自分で書いたかのように書き写すこと、コピペ ⇒不正行為です。

文章を参照したら、必ず注記が必要（参照すること自体はまったく不正ではありません）

## ■ A I（ChatGPTなど）の使用について

ルールに則ることが重要 / 授業担当教員の指示に従う

その授業が不合格になるだけでなく、その学期、もしくはその年度に受講したすべての科目が不合格になるなどの措置がとられるほか、学生身分に関わる処罰(停学など)が下されることも。

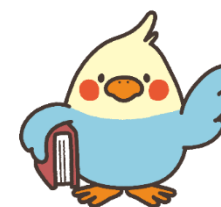
# 1年生が春学期に履修登録する単位数の目安

## 【時間割を組む順番】

- 1：基礎リテラシー 1単位
- 2：専攻言語 5単位
- 3：地域基礎 2～4単位
- 4：導入科目 2～4単位

春学期の履修登録の目安  
20単位程度

まず1～4で時間割を組んだあと、空いている時間に 5、6をいれる



- 5：GLIP英語科目／教養外国語科目 1～2単位
- 6：教養科目 2～6単位

春学期の時間割を  
つくってみよう！



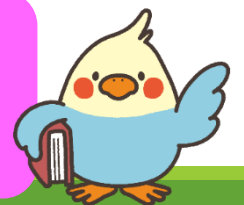
# 1年生の春学期の時間割（例）

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1(8:30-10:00)			専攻言語 1単位	基礎リテラシー 1単位	
2(10:10-11:40)	導入科目 2単位	地域基礎 2単位	専攻言語 1単位	教養科目 2単位	専攻言語 1単位
3(12:40-14:10)	専攻言語 1単位		導入科目 2単位	専攻言語 1単位	GLIP英語 1単位
4(14:20-15:50)		教養科目 2単位			
5(16:00-17:30)		GLIP英語 1単位		教養科目 2単位	

言語科目・・・7単位  
講義科目・・・12単位  
基礎科目・・・1単位  
合計 20単位

**進級要件**を確実に満たせるように履修を計画しよう

※2年次の春学期が終わった時点で進級要件は全て満たせているようにしよう！！！！



## 2-5. 履修のための各種システム

---



# 学務情報システム

シラバス検索も  
履修登録も  
学務情報システムから！



1. 大学ホームページのトップから

2. 「在校生の方」をクリック



4. 各自のIDとパスワードでログインする。



3. 「学務情報システム」をクリック

# TUFSメール @tufs.ac.jp



大学から配布されるメールアドレスには、今後卒業まで、  
大学や教員からの重要な通知が届きます  
**大学アカウントのメールは常時チェック！**

大学HP  
→在学生の方  
→学修サポートセンター等  
→総合情報コラボレーションセンター

## 学修サポートセンター等



- ➡ 附属図書館
- ➡ TUFSAcademic・サポートセンター (たふさぽ)
- ➡ 英語学習支援センター (ELC)
- ➡ TUFSMoodle
- ➡ ワールド・ランゲージ・センター (LINGUA)
- ➡ 国際教育支援室 (IES)
- ➡ **総合情報コラボレーションセンター (ICC)**

Information Collaboration Center

News Services Manuals About ICC Regulations

Virtual Cluster Storage

ウイルス/ワスター配布 (正規学生対象)

総合情報コラボレーションセンター概要

VPNサービス接続方法 (Windows10) (PDF)

VPNサービス接続方法 (Mac OS X) (PDF)

総合情報コラボレーションセンター 利用規約(日本語)

総合情報コラボレーションセンターでは、東京外国語大学 情報セキュリティセンターが...

お知らせ

- Web\_24 Mar 2021 20:47:27  
2020年度の学生のアカウント有効期間について
- Web\_23 Dec 2020 17:00:15  
2021年度業務補償員を募集します (第7)
- Pr\_25 Dec 2020 16:17:44  
冬休み期間中のシステムメンテナンスについて
- Pr\_25 Dec 2020 08:43:48  
メール送受信履歴について (2020年12月25日)
- Pr\_25 Dec 2020 08:44:24  
メール送受信履歴について (2020年12月25日)

ICC Cloud gmail 電子メールの送受信 (学生対象)

東京外国語大学では、学生の個人向けメールに、Google社のGmailを使用するシステムになっています。学生向けに、ICC Cloud Gmailの利用を...

ICC Cloud gmail メール転送 (学生対象)

学生向けに、メール転送の設定が可能なようにしています。Gmailのアカウントにメール転送の設定をする必要があります。以下の方法で、Gmailのアカウントにメール転送を設定してください。

→IC | 学生向けサービス

メール転送の設定も可能

# Moodle for Open Education

レジューメ配布、レポート・レスポンスシートの提出



東京外国語大学 e-Learning

Moodle for Open Education

あなたのアカウントを使用してログインします:



所属大学を選択してログイン / Select your university

to log in

# シラバス 授業の内容を知る



(1) 大学HP→在学生の方  
→シラバス検索

2023年度	国際社会学部				
地域社会研究入門1					
時間割コード					
19221001					
担当教員 (ローマ字表記)					
大石 高典 [OISHI Takanori]					
授業開講形態	授業形態	単位数	学期	曜日・時限	実務経験のある教員による授業
オンライン		2	春学期	水3	-

**授業題目 (和文)**  
地域社会とSDGs

**Title (English)**  
Communities, States and the SDGs

**授業の目標**  
Goals of the course

国連が推進する持続可能な開発目標 (SDGs) は、地球環境問題や貧困と格差の問題など地球規模課題の解決を謳っている。しかしながら、その核となる概念である「持続可能な発展」は、緊張関係にある資本主義の発展と環境保全や社会福祉を両立させるという矛盾をはらんでいる。国際社会によって、SDGsが絶対的正義であるかのようにして国家や地域社会に押し付けられると、様々な歪みが生じることになる。国際社会と地域社会では、持続性や開発をめぐる認識の違いがあることが少なく

The Sustainable Development Goals (SDGs), promoted by the United Nations, advocate solutions to global-scale problems, such as global environmental problems, poverty and inequality. However, the concept of 'sustainable development' involves a tension between capitalist development and environmental conservation. When the SDGs are imposed on nations or local societies as absolute justice, various distortions can occur. In international society and local society, there are often differences in recognition regarding sustainability and development.

(3) 授業の目標、授業計画、成績の評価...  
などの授業に関する詳細な情報が載っている

(2) 条件を入力して「検索」

# 時間割作成ガイド

## 授業の内容を知る

2025年度 授業時間割検索ガイドブック

<はじめに>

このガイドブックには、時間割の検索方法を紹介するだけでなく、各授業科目における「履修上の注意」等を掲載しています。学生各位においては入学時に配付された『履修案内』と併せ、このガイドブックに記載してある事項をよく読み、履修登録を行なってください。

□ 東京外国語大学「シラバス検索」URL：  
<https://gakumu-web1.tufs.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SylSearchMain.aspx>

<目次>

1 教務課からのお知らせ・よくある質問 (FAQ) ..... 1

**第1部 言語文化学部・国際社会学部 (2019年度以降入学者向け)**

- ・ Web 授業時間割の検索方法について ..... 3
- ・ 世界教養プログラム [基礎科目/教養科目/言語科目/地域科目] ..... 5
- ・ 専修プログラム [導入科目/概論科目/専門科目] ..... 18

**第2部 国際日本学部 (2019年度以降入学者向け)**

- ・ Web 授業時間割の検索方法について ..... 22
- ・ 世界教養プログラム [基礎科目/教養科目/言語科目] ..... 24
- ・ 専修プログラム [多文化協働科目/社会連携科目] ..... 37
- ・ 専修プログラム [導入科目/概論科目/専門科目] ..... 38

**第3部 言語文化学部・国際社会学部 (2018年度以前入学者向け)**

- ・ Web 授業時間割の検索方法について ..... 42
- ・ 世界教養プログラム [言語科目/地域科目/教養科目] ..... 44
- ・ 専修プログラム [導入科目/概論科目/選択科目] ..... 57

※教職科目は、学務情報システムログイン後、画面右上の「マニュアル」ボタンを押下して『教職ガイド2025.pdf』を確認してください。

## 国際社会学部の開講授業を調べる

2026年度 東京外国語大学  
 国際社会学部「キーワード検索」のすすめ

1 宗教	12 民主主義	23 人権	34 セクシュアリティ
2 信用	13 紛争解決	24 人道	35 移民
3 信用	14 平和構築	25 権力	36 難民
4 労働	15 産業	26 暴力	37 教育
5 国家	16 貿易	27 思想	38 人権
6 ナショナリズム	17 貧困	28 歴史	39 レイシズム
7 グローバリゼーション	18 開発	29 経済	40 エスニシティ
8 帝国	19 法	30 資本主義	41 都市
9 植民地	20 制度	31 社会主義	42 記憶
10 社会運動	21 国際機構	32 環境	43 芸術
11 アクティヴィズム	22 地域機構	33 ジェンダー	44 建築

2 - 6 .

# 『国際社会学部の歩き方』

---



地域社会研究コース

教員名	専門分野	研究室	e-mail
青木 雅浩	モンゴル地域研究、中央アジア・東北アジア近現代史	826	<a href="mailto:masamon@tufs.ac.jp">masamon@tufs.ac.jp</a>
青山 弘之	現代中東（西アジア・北アフリカ）の政治・思想・歴史	837	<a href="mailto:aljabal@tufs.ac.jp">aljabal@tufs.ac.jp</a>
足立 享祐	インド地域研究、歴史学（近現代史）、ヒンディー語	802	<a href="mailto:adachi.kyosuke@tufs.ac.jp">adachi.kyosuke@tufs.ac.jp</a>
生駒 美樹	文化人類学、ミャンマー・東南アジア地域研究	660	<a href="mailto:ikoma_miki@tufs.ac.jp">ikoma_miki@tufs.ac.jp</a>
伊東 剛史	イギリス近代史、人と動物の関係史、感情史	626	<a href="mailto:tito@tufs.ac.jp">tito@tufs.ac.jp</a>
大石 高典	生態人類学、アフリカ研究、狩猟採集民、森林と人間	506A	<a href="mailto:takanori@tufs.ac.jp">takanori@tufs.ac.jp</a>
小田 なら	東南アジア地域研究、ベトナム現代史	514	<a href="mailto:naraoda@tufs.ac.jp">naraoda@tufs.ac.jp</a>
小田原 琳	イタリア近現代史、ジェンダー史	760	<a href="mailto:rodawara@tufs.ac.jp">rodawara@tufs.ac.jp</a>
川本 智史	中東地域研究（トルコ）、都市史・建築史	831	<a href="mailto:skawamoto@tufs.ac.jp">skawamoto@tufs.ac.jp</a>
菊池 陽子	東南アジア近現代史、ラオス近現代史	639	<a href="mailto:kikuchiyoko@tufs.ac.jp">kikuchiyoko@tufs.ac.jp</a>
金 悠進	インドネシア・東南アジア地域研究、ポピュラー音楽	633	<a href="mailto:kim.yujin@tufs.ac.jp">kim.yujin@tufs.ac.jp</a>
木村 暁	中央アジア史、中央アジア地域研究	834	<a href="mailto:s_kimura@tufs.ac.jp">s_kimura@tufs.ac.jp</a>
日下 渉	フィリピン地域研究、政治と文化、エスノグラフィー	637	<a href="mailto:kusaka@tufs.ac.jp">kusaka@tufs.ac.jp</a>
久米 順子	スペイン中世美術史、西洋美術史、文化史	726	<a href="mailto:kumejun@tufs.ac.jp">kumejun@tufs.ac.jp</a>
倉田 明子	中国・香港近現代史（社会史、キリスト教史）	853	<a href="mailto:akurata@tufs.ac.jp">akurata@tufs.ac.jp</a>
近田 亮平	ブラジル研究、ラテンアメリカ地域研究、社会問題	761	<a href="mailto:r.konta@tufs.ac.jp">r.konta@tufs.ac.jp</a>
坂井 真紀子	農村社会学、アフリカ地域研究、村落開発	720	<a href="mailto:sakai_makiko@tufs.ac.jp">sakai_makiko@tufs.ac.jp</a>
佐藤 清子	アメリカ合衆国の宗教史	662	<a href="mailto:sesato@tufs.ac.jp">sesato@tufs.ac.jp</a>
澤田 ゆかり	中国（含む香港）に関する社会保障と労働問題	852	<a href="mailto:sawada@tufs.ac.jp">sawada@tufs.ac.jp</a>
篠原 琢	中央ヨーロッパ近・現代史（18-20 世紀）	718	<a href="mailto:takus@tufs.ac.jp">takus@tufs.ac.jp</a>
鈴木 義一	現代ロシア地域研究、ソ連史、比較経済体制論	704	<a href="mailto:ysuzuki@tufs.ac.jp">ysuzuki@tufs.ac.jp</a>
芹生 尚子	近世フランス史、史学史	761	<a href="mailto:nseriu@tufs.ac.jp">nseriu@tufs.ac.jp</a>
左右田 直規	東南アジア近現代史、マレーシア政治社会史	601	<a href="mailto:soda@tufs.ac.jp">soda@tufs.ac.jp</a>
巽 由樹子	ロシア史、メディア研究	703	<a href="mailto:tatsumi@tufs.ac.jp">tatsumi@tufs.ac.jp</a>
千葉 敏之	ヨーロッパ中世史、キリスト教史、歴史資料学	649	<a href="mailto:t-chiba@tufs.ac.jp">t-chiba@tufs.ac.jp</a>

どんな教員がいるの？

登利谷 正人	アフガニスタン・パキスタン地域研究・近現代史	851	<a href="mailto:toriya@tufs.ac.jp">toriya@tufs.ac.jp</a>
萩尾 生	バスク地域研究、言語社会学	728	<a href="mailto:shohagio@tufs.ac.jp">shohagio@tufs.ac.jp</a>
福嶋 千穂	近世ポーランド=リトアニア史、前近代のウクライナおよびベラルーシ	717	<a href="mailto:fsch@tufs.ac.jp">fsch@tufs.ac.jp</a>
藤井 豪	朝鮮近現代史、韓国現代社会	857	<a href="mailto:nareh0810@tufs.ac.jp">nareh0810@tufs.ac.jp</a>
宮田 敏之	東南アジア経済研究、タイ地域研究、タイ経済研究	531	<a href="mailto:tmiyata@tufs.ac.jp">tmiyata@tufs.ac.jp</a>
山内 由理子	文化人類学、先住民研究、オセアニア地域研究	625	<a href="mailto:yuriko.yamanouchi@tufs.ac.jp">yuriko.yamanouchi@tufs.ac.jp</a>
ルシオ デ ソウザ	近代ヨーロッパ - アジア関係	617	<a href="mailto:sousa.lucio@tufs.ac.jp">sousa.lucio@tufs.ac.jp</a>

現代世界論コース			
教員名	専門分野	研究室	e-mail
上原 こずえ	社会学、沖縄現代史、社会運動史	551	<a href="mailto:uehara@tufs.ac.jp">uehara@tufs.ac.jp</a>
大川 正彦	政治学（原論・政治理論）、倫理学、いのち論	546	<a href="mailto:okawa@tufs.ac.jp">okawa@tufs.ac.jp</a>
小野寺 拓也	ドイツ現代史、ナチズム論、日常史、感情史、男性史	647	<a href="mailto:tonodera@tufs.ac.jp">tonodera@tufs.ac.jp</a>
加藤 美帆	教育社会学、家族社会学、ジェンダーと教育	528	<a href="mailto:mihokato@tufs.ac.jp">mihokato@tufs.ac.jp</a>
竹田 恵子	ジェンダー／セクシュアリティ研究、メディア研究、社会学	518	<a href="mailto:keiko_takeda@tufs.ac.jp">keiko_takeda@tufs.ac.jp</a>
田邊 佳美	国際社会学、フランス現代社会研究、移住研究、交差性	723	<a href="mailto:yoshimi.tanabe.i@tufs.ac.jp">yoshimi.tanabe.i@tufs.ac.jp</a>
東城 文柄	バングラデシュ地域研究、地理学、RS・GIS、環境地理学	506C	<a href="mailto:tojo.b21@tufs.ac.jp">tojo.b21@tufs.ac.jp</a>
中山 智香子	社会思想、経済思想、グローバルスタディーズ	504	<a href="mailto:nakac@tufs.ac.jp">nakac@tufs.ac.jp</a>
平田 周	フランス語圏現代思想、グローバルスタディーズ	531	<a href="mailto:shushu68@tufs.ac.jp">shushu68@tufs.ac.jp</a>
古川 高子*	近現代ヨーロッパ史、アルピニズム、自然の思想史	559	<a href="mailto:furukawa@tufs.ac.jp">furukawa@tufs.ac.jp</a>
真島 一郎	社会人類学、現代思想、西アフリカ民族誌	503	<a href="mailto:imajima@tufs.ac.jp">imajima@tufs.ac.jp</a>
梁 英聖	レイシズム研究、資本主義と差別、在日朝鮮人差別	516	<a href="mailto:yongsong@tufs.ac.jp">yongsong@tufs.ac.jp</a>

国際関係コース			
教員名	専門分野	研究室	e-mail
内山 直子	ラテンアメリカ地域研究、開発経済学	731	<a href="mailto:n.uchiyama@tufs.ac.jp">n.uchiyama@tufs.ac.jp</a>
岡田 昭人	比較国際教育学、異文化コミュニケーション	532	<a href="mailto:aokada@tufs.ac.jp">aokada@tufs.ac.jp</a>
片岡 真輝	記憶の政治学、フィジー地域研究	631	<a href="mailto:masaki_kataoka@tufs.ac.jp">masaki_kataoka@tufs.ac.jp</a>
菊地 和也	応用経済学、ゲーム理論	554	<a href="mailto:kkikuchi@tufs.ac.jp">kkikuchi@tufs.ac.jp</a>
佐藤千鶴子	国際協力論、移民・難民研究、アフリカ地域研究	529	<a href="mailto:satochi@tufs.ac.jp">satochi@tufs.ac.jp</a>
篠田 英朗	平和構築、紛争解決、国際秩序論、国際協力、国際組織	505	<a href="mailto:hshinoda@tufs.ac.jp">hshinoda@tufs.ac.jp</a>
鈴木 美弥子	民法、消費者法、環境法	555	<a href="mailto:mysuzuki@tufs.ac.jp">mysuzuki@tufs.ac.jp</a>
武内 進一	アフリカ研究、国際関係論、国際協力論	401E2; AA 研棟 611	<a href="mailto:shinichi_takeuchi@tufs.ac.jp">shinichi_takeuchi@tufs.ac.jp</a>
田島 陽一	国際経済学、開発経済学、メキシコ経済論	556	<a href="mailto:tajima@tufs.ac.jp">tajima@tufs.ac.jp</a>
谷 一巳	国際政治論	552	<a href="mailto:k.tani@tufs.ac.jp">k.tani@tufs.ac.jp</a>
出町 一恵	国際金融論、開発経済論	830C	<a href="mailto:k.demachi@tufs.ac.jp">k.demachi@tufs.ac.jp</a>
富田 晃正	国際関係論、国際政治経済学	652	<a href="mailto:terumasa@tufs.ac.jp">terumasa@tufs.ac.jp</a>
中谷 純江	平和維持、テクノロジーと安全保障・緊急支援、危機管理	557	<a href="mailto:sumie.nakaya@tufs.ac.jp">sumie.nakaya@tufs.ac.jp</a>
松隈 潤	国際法、国際機構論	550	<a href="mailto:jmatsukuma@tufs.ac.jp">jmatsukuma@tufs.ac.jp</a>
松永 泰行	比較政治学、政治社会学（争議政治）、国際関係論	524	<a href="mailto:matsunaga@tufs.ac.jp">matsunaga@tufs.ac.jp</a>
吉崎 知典	国際政治、安全保障、国連平和維持活動（PKO）	501	<a href="mailto:tomoyoshizaki@tufs.ac.jp">tomoyoshizaki@tufs.ac.jp</a>
若松 邦弘	比較政治（西欧）、福祉・移民・環境など社会争点政治	661	<a href="mailto:kwakamat@tufs.ac.jp">kwakamat@tufs.ac.jp</a>

# 履修モデル 自分だけのモデルを考えてみよう！

## 地域社会研究 コースの履修モデル

### Area Studies

Model 1  
北西ヨーロッパ・  
北アメリカ地域  
×  
歴史  
ヨーロッパの歴史を  
深く探求したい！

Model 2  
東アジア地域  
×  
現代社会  
経済大国中国の  
リアルが知りたい！

Model 3  
イベリア・  
ラテンアメリカ地域  
×  
女性  
途上国の女性の地位向上  
のために働きたい！

1~2年次：専攻語の運用能力を高めると同時に、専攻地域に応じた「地域基礎」を必ず履修し、地域の歴史・社会を詳しく学びます。導入科目を広く履修し、幅広い土台作りを心掛ける時期でもあります。

言語能力を高める授業  
地域を深く知る授業  
学びの土台をつくる授業  
基礎的教養を身に付ける授業

3~4年次：それまでに修得した語学を武器に、地域に関する知識を深めつつ、ゼミを中心に「専門知」に磨きをかけていきます。多くの学生が留学プログラムに参加するなど、「専門知」の学びの場は世界に広がります。

1年生	2年生				3年生				4年生			
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
専攻言語Ⅰ (英語Ⅰ) プリテン諸島と近世ヨーロッパ 連合王国の近現代史 ジェンダーから考える近現代 歴史学入門 世界史を開く 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅱ (英語Ⅱ) ジェンダーから読み直すアメリカ史 アメリカ史入門1 ジェンダーから考える近現代 現代史と映像 国際政治学入門 教養科目	専攻言語Ⅲ (英語Ⅲ) 19・20世紀の西洋/スペイン美術史 感情史の理論と実践 ハブスブルク帝国史研究 Iberian Studies 西欧現代政治論 ユートピアと社会契約 歴史から教訓は学べるか 専門演習 [近代イギリスの政治・社会・文化]	専攻言語Ⅳ (英語Ⅳ) 教養外国語 (ドイツ語) 教養外国語 (スペイン語) 歴史映画にみるポーランド近世 近世スペイン美術史 ジェンダーと高等教育 感情史とは何か ヨーロッパ国際関係史 卒論演習 卒論テーマ～戦間期イギリスの政治と社会～	専攻言語Ⅰ (中国語Ⅰ) GLIP 英語 現代中国の政治・経済・社会 中国の伝統と現代 中国の輪郭を知る 地域研究入門 レイシズム・スタディーズ入門 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅱ (中国語Ⅱ) GLIP 英語 地域社会と経済生活 ナショナリズムとイスラーム主義 香港と中国の歴史 歴史学入門 グローバリスタディーズの経済思想史 教養科目	専攻言語Ⅲ (中国語Ⅲ) 中台関係論 現代台湾政治 東アジアポピュラー文化の越境移動 現代中国経済論 国際金融概論 貿易と直接投資 近代日本の思想とアジア 専門演習 [中国・香港の歴史と社会]	専攻言語Ⅳ (中国語Ⅳ) 教養外国語 (朝鮮語) 朝鮮戦争を考える 解放期南北朝鮮の政治と社会 国際経済学1・2 東アジアの経済発展と開発経済学 卒論演習 卒論テーマ～慰安婦問題と東アジア地域～	専攻言語Ⅰ (スペイン語Ⅰ) GLIP 英語 ラテンアメリカ政治経済入門 ブラジル地域研究入門 美術・建築からみるスペイン史 地域研究入門 ジェンダー論入門 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅱ (スペイン語Ⅱ) GLIP 英語 ジェンダーから読み直すアメリカ史 周縁から考えるグローバル・ヒストリー ジェンダー史概論 現代史と映像 クワイア・スタディーズ 教養科目	専攻言語Ⅲ (スペイン語Ⅲ) 伝統とともに今を生きる先住民マヤ ブラジルの人と社会 国際社会の中のブラジル 近現代ベトナムの性と政治 国際法概論 Gender and Globalization ジェンダーとキャリア形成の国際比較 専門演習 [アメリカ地域研究演習]	専攻言語Ⅳ (スペイン語Ⅳ) 教養外国語 (ポルトガル語) ジェンダーと高等教育 カナダの歴史 アフリカ人類学 国際法 実務的側面から見た国際機関 卒論演習 卒論テーマ～米墨国境での移民女性への暴力～	

● は地域基礎 (必修)、● は地域社会研究コース、● は現代世界論コース、● は国際関係コースで開講されている授業を指します。丸印のなかの「入」は導入科目、「概」は概論科目、「専」は専門科目を意味します。

# 現代世界論 コースの履修モデル Contemporary Global Studies

1~2年次：専攻語の運用能力を高めると同時に、専攻地域に応じた「地域基礎」を必ず履修し、地域の歴史・社会を詳しく学びます。導入科目を広く履修し、幅広い土台作りを心掛ける時期でもあります。

- 言語能力を高める授業
- 地域への理解を深める授業
- 専門知を究める授業
- 基礎的教養を身に付ける授業

3~4年次：それまでに修得した語学を武器に、地域に関する知識を深めつつ、ゼミを中心に「専門知」に磨きをかけていきます。多くの学生が留学プログラムに参加するなど、「専門知」の学びの場は世界に広がります。

Model 1  
中央ヨーロッパ地域  
×  
環境  
環境先進国ヨーロッパの  
経験から学びたい！

Model 2  
東南アジア第1地域  
×  
ジェンダー  
エンタメ産業における  
ジェンダー問題を  
考えたい

Model 3  
西南ヨーロッパ地域  
×  
移民・教育  
移民のこどもたちを  
笑顔にしたい！

1年生				2年生				3年生				4/5年生			
春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
専攻言語I (ドイツ語I) GLIP 英語 <small>ショートビジット ミュンヘン大学 (独)</small>				専攻言語II (ドイツ語II) 教養外国語 (フランス語)				教養外国語 (フランス語)				教養外国語 (イタリア語)			
ドイツ・ヨーロッパ中世史 <small>ドイツ語圏の文化 考える世界史</small>				ドイツ近現代史 <small>中東欧国際関係史</small>				現代ヨーロッパにおける戦争の記憶 <small>留学 チューリッヒ大学 (瑞)</small>				感情史の理論と実践 <small>ドキュメンタリー映画論 感情史とは何か 歴史から教訓は学べるか 西欧現代政治論</small>			
歴史学入門 <small>現代史と映像 政治学原論-倫理と政治</small>				政治学原論-倫理と環境正義 <small>グローバルスタディーズの経済思想史 歴史資料体論 国際政治学入門</small>				現代世界論概論 I A <small>自然と人間の社会史 環境保全論I・II 環境保護・脱原発のドイツ・ヨーロッパ史</small>				*進路: メーカー*			
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目 <small>西東京三大学「協働基礎ゼミ」</small>				教養科目				専門演習 「環境保全論演習」				卒論演習 卒論テーマ~ヨーロッパにおける環境意識の変遷~			
専攻言語I (フィリピン語I) GLIP 英語				専攻言語II (フィリピン語II) GLIP 英語 <small>ショートビジット デラサール大学 (比)</small>				専攻言語III (フィリピン語III)				教養外国語 (朝鮮語)			
フィリピン研究入門1 <small>フィリピン研究入門2 東南アジア研究入門</small>				ジェンダー史概論 <small>東南アジア地域研究特論</small>				島嶼部東南アジア政治経済社会史 <small>東南アジアの物質文化 近現代ベトナムの性と政治</small>				医療から見るベトナム近現代史 <small>森崎和江とフェミニズム ジェンダーとキャリア形成の国際比較 ドキュメンタリー映画論 自由論</small>			
文化人類学入門 <small>地域研究入門 レイシズム・スタディーズ入門</small>				ジェンダー論入門 <small>ミクロ経済学入門 質的社会調査法 社会学原論 フィア史の探求</small>				現代世界論概論 I A <small>ケアの倫理と政治理論 日常生活とつながるジェンダー1・2</small>				*進路: マスコミ*			
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				教養科目				専門演習 主:「社会学専門演習」 副:「ジェンダー論演習」				卒論演習 卒論テーマ~アジアにおける女性とエンタメ~			
専攻言語I (フランス語I) GLIP 英語				専攻言語II (フランス語II) GLIP 英語				専攻言語III (フランス語III)				教養外国語 (アラビア語)			
パリ市を通して見るフランス社会 <small>フランス史概説 History of Contemporary France</small>				アフリカ地域研究入門 <small>ナショナリズムとイスラーム主義</small>				近世フランスにおける民衆の経験を考える <small>&lt;境界&gt;としてのイタリア</small>				アフリカ文化論 <small>レイシズム・スタディーズ1・2 市民権/国籍の政治社会学 国際教育論 紛争後社会と和解</small>			
現代史と映像 <small>政治学原論-倫理と政治 レイシズム・スタディーズ入門</small>				文化人類学入門 <small>政治学基礎 ユートピアと社会契約 質的社会調査法</small>				私たちのアナキズム研究 <small>「教育問題」と社会学 国際社会学 移民と国家の社会学 感情史とは何か</small> <small>留学 パリ政治学院 (仏)</small>				*進路: 教育関連*			
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目 <small>国連スタディーツアー</small>				教養科目				教職課程プログラム 専門演習 「国際社会学演習」				卒論演習 卒論テーマ~移民のこどもとフランス社会~			

● は地域基礎 (必修)、● は地域社会研究コース、● は現代世界論コース、● は国際関係コースで開講されている授業を指します。丸印のなかの「入」は導入科目、「概」は概論科目、「専」は専門科目を意味します。

# 国際関係 コースの履修モデル International Relations

**Model 1**  
オセアニア地域  
×  
国際法  
先住民の権利の問題を  
SDGsの観点から考えたい！

**Model 2**  
南アジア地域  
×  
国際政治  
外交官として日本と外国を  
繋ぐ架け橋になりたい！

**Model 3**  
東南アジア第2地域  
×  
経済  
グローバル・バリュー  
チェーンの課題について  
考えたい！

1~2年次：専攻語の運用能力を高めると同時に、専攻地域に応じた「地域基礎」を必ず履修し、地域の歴史・社会を詳しく学びます。導入科目を広く履修し、幅広い土台作りを心掛ける時期でもあります。

- 言語能力を高める授業
- 地域への理解を深める授業
- 専門知を究める授業
- 基礎的教養を身に付ける授業

3~4年次：それまでに修得した語学を武器に、地域に関する知識を深めつつ、ゼミを中心に「専門知」に磨きをかけていきます。多くの学生が留学プログラムに参加するなど、「専門知」の学びの場は世界に広がります。

	1年生				2年生				3年生				4年生			
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
<b>Model 1</b>	専攻言語Ⅰ (英語Ⅰ) GLIP 英語				専攻言語Ⅱ (英語Ⅱ) 諸地域言語				教養外国語 (フランス語) 「先住民 (族)」からみる 「先住民」から考える				教養外国語 (イタリア語) カナダの歴史			
	オセアニア地域基礎 オセアニアの歴史と社会 (1)(2)				周縁から考えるグローバル・ヒストリー 地域社会とSDGs ミクロ経済学入門 グローバルスタディーズの経済思想史 Theory and Practice of United Nations				国際秩序論 国際法Ⅰ・Ⅱ 国際法事例研究 グローバル環境ガバナンス				実務的側面から見た国際機関 開発経済学 比較福祉政治 現代社会論			
	法学 レイシズム・スタディーズ入門				国際法概論 国際法総論				メルボルン大学 (豪)				海外大学院			
	民法総論 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				国連スタディーツアー				専門演習 「国際法演習」				卒論演習 卒論テーマ～先住民の権利保護と持続可能な開発～			
<b>Model 2</b>	専攻言語Ⅰ (ヒンディー語Ⅰ) GLIP 英語				専攻言語Ⅱ (ヒンディー語Ⅱ) GLIP 英語				専攻言語Ⅲ (ヒンディー語Ⅲ) アフガニスタン・パキスタン 近現代政治社会史 1・2				教養外国語 (アラビア語) インド・パキスタン分離独立論 1・2 アラブ地域政治事情			
	南アジア研究入門 1 南アジア研究入門 2 パキスタン研究入門 1				パキスタン・アフガニスタン研究入門 ナショナリズムとイスラーム主義 国際政治経済入門 国際社会の中の日本 政治分析入門				国際法概論 歴史認識論 国際法Ⅰ・Ⅱ 日本外交論				紛争解決論 ゲーム理論 1 ヨーロッパ国際関係史			
	国際政治学入門 世界史を開く 政治学原論～倫理と政治				外交官等国家・地方公務員プログラム								外務省専門職			
	基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				国連スタディーツアー				専門演習 「国際協調」				卒論演習 卒論テーマ～インド太平洋をめぐる国際政治～			
<b>Model 3</b>	専攻言語Ⅰ (タイ語Ⅰ) GLIP 英語				専攻言語Ⅱ (タイ語Ⅱ) 教養外国語 (中国語)				専攻言語Ⅲ (タイ語Ⅲ) 教養外国語 (中国語) ラオス経済論 タイ政治経済論				教養外国語 (朝鮮語) 現代中国経済論 1・2			
	タイ研究入門 1・2 東南アジア研究入門				地域社会と経済生活 現代東南アジア経済論 国際政治経済入門 ジェンダー論入門 貿易と直接投資 国際金融概論				クィア史の探究 開発経済学 国際経済学 1 ビジネス法 ラテン・アメリカの経済発展と開発経済学				環境保全論 1 国際経済学 2 開発経済学と東南アジア地域研究			
	ミクロ経済学入門 地域研究入門 マクロ経済学入門								チェラロンコン大学 (泰)				政策金融機関			
	基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				国連スタディーツアー				専門演習 「国際経済論」				卒論演習 卒論テーマ～アジア経済とバリュー・チェーン～			

●は地域基礎 (必修)、●は地域社会研究コース、●は現代世界論コース、●は国際関係コースで開講されている授業を指します。丸印のなかの「入」は導入科目、「概」は概論科目、「専」は専門科目を意味します。

どの地域所属の学生も、**原則**、3コース  
全ての先生のゼミに進めます！



## 国際社会学部の歩き方 2026



### 9. よくある質問コーナー

Q1. 入学前に ICC アカウントとパスワードが配布されたそうですが、受け取っていません。どうすればよいですか？

A1. ICC アカウント取得に関するお知らせは、入学手続きの際に住所等と一緒にウェブページに入力されたメールアドレス宛に送られています。もう一度確認してみてください。メールを受け取っていない/紛失した場合は、東京外国語大学総合情報コラボレーションセンター（ICCセンター）に連絡してください。 E-mail: [icc-service@tufs.ac.jp](mailto:icc-service@tufs.ac.jp)

Q2. 春学期の GLIP 科目の履修や登録方法について質問があります。どこに連絡すればいいですか？

A2. GLIP デスクに問い合わせてください。  
GLIP デスク（研究講義棟 412 教室） E-mail: [glip@tufs.ac.jp](mailto:glip@tufs.ac.jp) Tel: 042-330-5366

Q3. 春学期は何コマくらい履修すればいいですか？

A3. **12-15 コマ**をおススメします。必修科目、進級要件科目を中心にまず時間割を組み、そこに教養科目を足していく、というイメージが良いと思います。

Q4. 授業をどうしても欠席しないとけません。どんな手続きが必要ですか？

A4. 欠席には公欠になるものとならないものがあります。履修案内をよく読み、必要な手続きをしてください。

Q5. 履修している科目の担当の先生に連絡したいことがあります。メールアドレスが分からないのですが、どうすればいいですか？

A5. 大学ホームページの「研究者一覧」には外大所属の教員が全員載っています。ここに目指す先生がいるか、その先生のページにメールアドレスが書いてあるか、確認しましょう。  
<http://www.tufs.ac.jp/research/researcher/people/index.html>

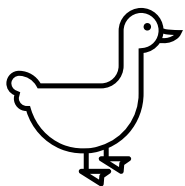
Q6. 確認しましたが、そこには先生の名前（メールアドレス）がありませんでした。どうしたらいいですか？

A6. 非常勤の先生については、個人情報の観点から情報は公開されていません。授業時間中に連絡を取ることを優先してください。緊急の場合は教務課に相談してください。また、下記の科目群については、それぞれ担当の専任教員にも相談してみてください。

- ・ 専攻言語・地域基礎の場合→専攻言語代表教員
- ・ 地域代表教員 教養外国語の場合→教養外国語担当教員
- ・ GLIP 科目の場合→ GLIP デスク

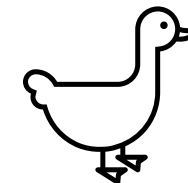
# 3. 学生生活について

詳しくは大学HP「在学生の方」もご覧ください！



# 様々な支援体制（1）

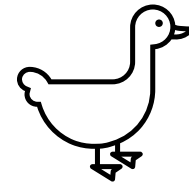
- たふさぽ（TUFSAアカデミック・サポート・センター）（研究講義棟 1 階）
- 保健管理センター（本部管理棟隣）
- 学生相談室
  
- グローバル・キャリア・センター/GCC（研究講義棟2階）
  - ☞ 就活を全面バックアップ
  
- 留学支援共同利用センター（研究講義棟 2 階）
  - ☞ 留学に関する情報収集、相談はこちら
  
- 多言語コンシェルジュ・学習相談デスク（図書館2F）
  - ☞ 大学院生が学習上のアドバイス（レポートの書き方など）



# 様々な支援体制 (2)

歩き方  
p.24-

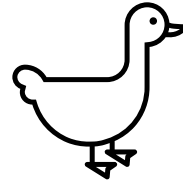
- E L C (英語学習支援センター) …研究講義棟3階304室
- 学生課・教務課 (本部管理棟1F)
  - ☞ 学生生活や履修・成績関連一般はこちら
- 個別の教員 (地域代表教員、指導教員など)



## ★緊急の相談

犯罪、盗難等に関する事、経済的な問題など相談先が分からない場合など、緊急に相談したいことがある場合  
TUFS110連絡フォーム：<https://sanda.tufs.ac.jp/tufs110/form/>

# 何をどこで相談するか



以下のような悩みがあったら・・・

✓ 修学上の問題について

✓ 将来（ゼミ選択、コース選択、進学）について ⇒ **たふさぽ**へ

✓ 心の健康について

✓ 日常生活（人間関係の悩み、生活の乱れetc）について ⇒ **学生相談室**へ

✓ 心身の不調

✓ 急な病気や怪我 ⇒ **保健管理センター**へ

✓ 障がい等の修学上の困難 ⇒ **合理的配慮**の申請（教務課）

# TUFS アカデミック・サポート・センター (たふさぽ)

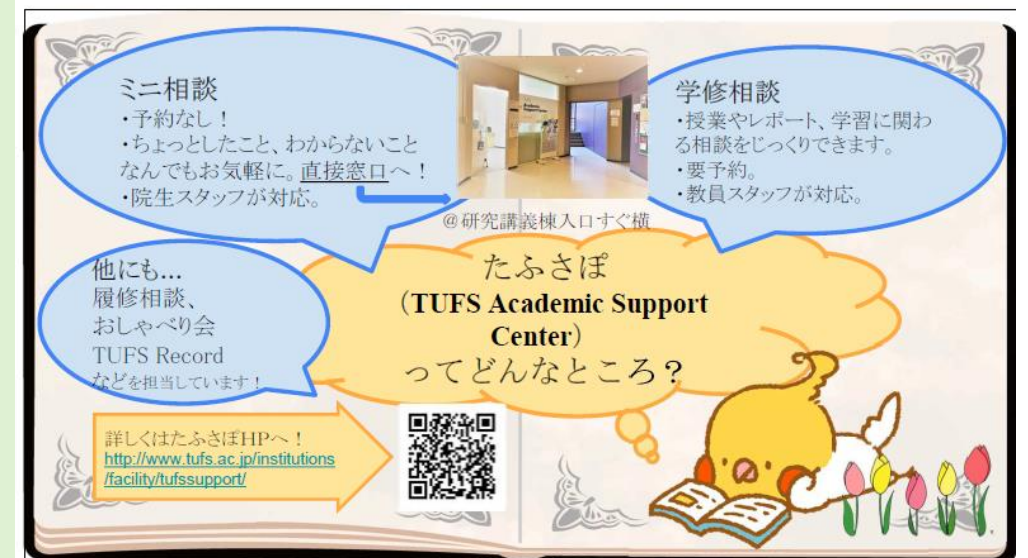
歩き方  
p.25-

アクセス：研究講義棟 1階北側エントランス横

開室時間：春・秋学期 月～金 10：00～15：00（8月は閉室）

最新の情報（イベントも多数）は、大学HPでご確認ください。

<http://www.tufs.ac.jp/institutions/facility/tufssupport/>



連絡方法：電話042-330-5885／

メール [academic-support-center@tufs.ac.jp](mailto:academic-support-center@tufs.ac.jp)

# 学生相談室

学生生活の悩みや心の健康について気軽に相談



相談窓口  
ガイド

アクセス：保健管理センター棟 1 階 北口ドアより

開室時間：月～金 10：00～ 16：00（12：30～13：30は昼休み）

相談申し込み方法（予約制）

★電話：042-330-5560(受付直通)

★直接受付に行く

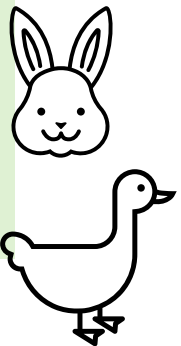
★Webから申込（大学のGoogleアカウントでログインが必要です）

<https://forms.gle/GnMsae1TzziXZZr47>



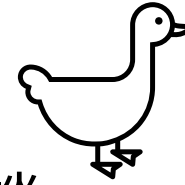
悩みに応じて相談先を選べます

- ①学生支援担当教員
- ②カウンセラー(臨床心理士・公認心理師)への相談



# 保健管理センター

身・心の健康上の不調や問題等について医師や看護師に相談



相談窓口  
ガイド

アクセス：保健管理センター棟 1 階 北口ドアより

医師の担当する「内科診療・相談」

曜日：月曜～水曜・金曜日(木曜・土日・休日を除く)

時間：10:00～12:15、13:30～15:00

看護師の担当する「応急処置・相談」

曜日：月曜～金曜日(土日・休日を除く)

時間：9:30～12:15、13:30～16:00

学校医(非常勤)の担当する「精神科相談」

曜日：火曜午後と木曜午後の月 1 回：予約が必要で、時間帯は予約時に確認。

予約受付は電話(042-330-5435)のみ可(メールでの予約受付は不可)。

悩みがあったら・・・

自分ひとりで抱え込まずに、気軽に相談してください！

まずは

「たふさぽ」&「学生相談室」へ！



# 2 - 7 . より深い学びへ

---



# 大学院

より高度な専門研究へ、研究者への道

## 大学院総合国際学研究科

博士前期課程（修士号）・博士後期課程（博士号）

ダブル・ディグリー修士プログラム

### 公共圏 における歴史

History in the Public Sphere

# hips

HIPSとは  
連邦ドイツ、History in the Public Sphere [公共圏における歴史]は、東京外国語大学とドイツ・フランクフルト大学の共同プロジェクトが中心となり、日本とヨーロッパ両地域に属する歴史学有識者（歴史学者）のダブル・ディグリープログラムです。この交流プログラムによる「大学の国際化の推進」とヨーロッパ両国に由来する「ヒストリカル・リサーチ」プログラムの両面から交流を促すことで、公衆の関心と歴史学を刷新し、新たな歴史学を創出する。両大学が有識者の協力を集め、ともに学び、2つの学位を取得することができます。

東京外国語大学  
Tokyo University of Foreign Studies

東京外国語大学 大学院国際総合学研究科博士前期課程  
公衆圏の歴史学専攻 / 2018年度 第11期 博士課程専攻  
「歴史と公共圏を軸とした  
日欧相互理解を促す国際人材育成プログラム」

Inter-University Exchange Project  
- Support for the Formation of Collaborative Programs with African Universities -

文部科学省「大学の世界展開力強化事業」  
- アフリカ諸国との大学間交流形成支援 -

## Innovative Africa:

Educational Networking Programs for Human Resource Development in Africa's SDGs

アフリカにおけるSDGsに向けた  
高度イノベーション人材育成のための  
国際連携教育プログラム

東京外国語大学  
Tokyo University of Foreign Studies

## 共同サステナビリティ専攻 (博士後期課程)

本学・東京農工大学・電気通信大学の三大学が共同で設置する  
複合新領域の研究専攻  
(文理融合型・SDGs)

# 『ピエリア』

❶ 出版業界に関心がある学生は注目！

## 教員と学生が編む東京外国語大学出版会の広報誌



本学教員が特定の主題から  
〈学問の世界〉に皆さんを誘う珠玉のエッセイ集



## 2 - 8 . これからのスケジュール

---



# 春学期の履修登録

## 2026年度 春学期のスケジュール

授業開始	4月8日（水）
抽選登録期間（GLIP英語科目）	4月1日（水）～3日（金）
（教養外国語科目）	4月1日（水）～6日（月）
履修登録期間	4月7日（火）～14日（火）
履修登録修正期間	4月15日（水）～4月21日（火）
履修中止期間	5月11日（月）～12日（火）

※履修登録期間は、夏学期、秋学期、冬学期にもあります。

期間厳守、全ての授業を、学務情報システムから自分で履修登録すること

「基礎リテラシー」「基礎演習」は特に注意。基礎リテラシーは必ず4月7日からの履修登録期間に自分で履修登録してください！

# 履修相談コーナー

まずは『履修案内』『国際社会学部の歩き方』等の案内をよく読み、各自で履修の計画をたてる。それでも疑問がある場合は・・・

## ■履修相談コーナー

教員が個別相談に応じます。

4月7日（火） 11：00～12：30 大会議室

※大会議室；本部管理棟の2階

さらに、疑問がある場合は、以下に相談：

- ・教務課窓口
- ・各専攻地域代表教員

# 新入生向け教職課程ガイダンス

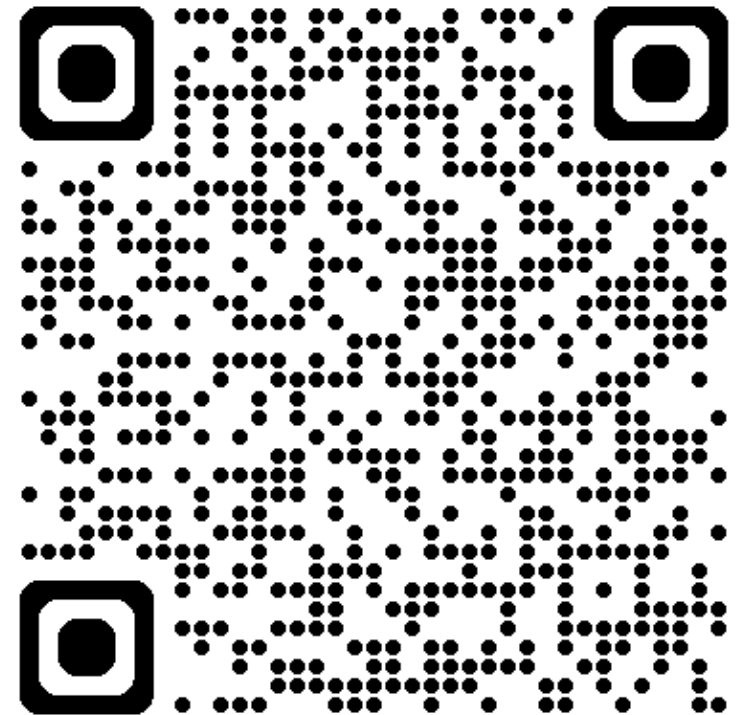
## 教職課程説明会

対象：全学部新入生・第3年次編入生で、教員免許の取得希望者

日時：4月6日(月)11:00～11:30

場所：研究講義棟115教室

※教職履修希望者は教務課で『教職ガイド』を受け取ること。



教職ガイダンス動画

# Can Do テスト実施について

---

# 日本語教師養成プログラムについて

## 「日本語教師養成プログラム説明会」

4月7日（火） 13時から13時50分  
4月10日（金） 11時50分から12時30分

※いずれも研究講義棟102教室で行われます。

日本語教師養成プログラムガイド2026

<https://www.tufs.ac.jp/documents/education/program/jplangedu2026.pdf>

 東京外国語大学

日本語教師養成  
プログラムガイド2026



# 国籍・市民権・法的地位等を理由にした 人権侵害防止のための声明

東京外国語大学は、多様な背景を有する学生や教職員によって構成されています。まさにこのことが、私たちのキャンパスを特徴づけ、多言語・多文化間の相互作用から魅力的かつユニークな学びの場にしてきました。このキャンパスにおいて、すべての学生・教職員が、国籍・市民権・法的地位・出身地・人種・民族・宗教・言語・年齢・ジェンダー・セクシュアリティ・障害等を理由にした差別や人権侵害を受けることなく安心できる教育研究環境・労働環境を保障するために、私たちは以下のことを確認し、また宣言します。

- ・特定の国や地域の国籍・市民権を理由に、または人種的偏見に基づいて、本学の教職員や学生をリスクとみなしたり、その法的地位を追及したりする言動をしない
- ・非正規滞在を含む法的地位の不安定な学生も、差別的な取り扱いを受けることなく、安心して教育を受ける権利を保障する
- ・国籍・市民権や法的地位、障害等を理由に、授業やゼミへの参加、サークルや課外活動、入試、成績評価、人事評価などで差別的な取り扱いをしない
- ・教職員や学生の法的地位や性自認・性的指向等の個人情報については、アウティング（本人の同意なしに第三者に伝えてしまうこと）をしない
- ・教職員や学生の法的地位等に関する個人情報について、関係機関その他の第三者に提供しない

これらのことは、日本政府の批准した人種差別撤廃条約に基づき、本学が人種差別を撤廃する義務を負っていること、また「国連アカデミック・インパクト（UNAI）」に加盟しており、そこで謳われている「原則3：性別、人種、宗教、民族を問わず、全ての人に教育の機会を提供する」および「原則10：異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く」に積極的に関与することが求められていることから確認されるものです。私たちは、これらの原則を教育・研究・学生支援および人事運営などの場面において具体化し、多様な背景を持つ構成員が尊厳をもって学び、働くことのできる環境を発展させることを、責務としてここに表明します。

# 国連・国際機構教育プログラム

国連などの国際機関、国際協力機構等、国際的な組織への就職を希望する学生のための教育プログラム



国連は世界の平和と発展のために、地球的規模の課題や国家が単独では解決できない様々な問題に取り組んでいます。平和構築、持続可能な開発、人道危機など、国際社会が直面する緊急課題に国連がいかに取り組んでいるかを実地で学ぶ経験は、国連や他の国際機関、国際協力機構や外務省などで働くことを目指す皆さんにとって、かけがえのない経験となり、将来に向けた確かな土台となります。

本プログラムでは、まず1・2年次秋学期に準備講義を受講したうえで、冬学期にニューヨークでの研修プログラム（スタディーツアー）に参加します。準備学習・スタディーツアーで得た貴重な体験や知識を、3年次進級後、関連する専門科目を継続して受講することで深め、将来、国際機関で働くために必要な専門知識を系統的に学びます。

また、国連・国際機関で働くには、さらに大学院で専門性を磨き、修士号を取得することが必須です。本プログラムは、大学院での学びを準備するプログラムともなっています。

プログラムの構成（計10単位）
説明会（6月）・科目登録
ステップ1（基本の学びとスタディーツアーへの準備）
講義「国際機関とその難民機関」を履修（2単位）
ステップ2（臨地学習）
<p>ニューヨーク国連本部でのスタディーツアー「国連研修プログラム」に参加（2単位）※ （帰国後「報告会」に参加）</p> <p>※事情により渡航できない場合は、③及び対象科目2科目の履修に代えることができる</p>
ステップ3（専門性を深める）
<p>対象となる概論科目・専門科目【※別表】から、卒業までに計6単位を受講</p> <p>※国際機構論、国際協力論、国際政治論、経済学（国際経済学、開発経済学）（一部、概論科目を含む）の4科目群で開かれる講義</p>
修了証（ディプロマサプリメント）
<p>上記の計10単位の履修を終えた学生は卒業年次に「修了証発行願」を提出し、単位取得が確認できた場合にはディプロマサプリメントに修了証が記載される</p>

国連・国際機構教育プログラム  
必修科目+選択対象科目 (2026年度ベース)

履修コード	科目名	担当教員名		クラス	開講期	曜日時限		
		授業題目	使用言語			教室割	教室割	
1	19180021 国際社会と地域2	中村 恵 [NAKAMURA Megumi]			秋学期	月2		必修
		国際連合とその難民機関		英語		113		
2	19180260 スターティア	中村 恵 [NAKAMURA Megumi]			冬学期	集中		必修
		国連研修プログラム		英語 一部		対面		
履修コード	科目名	担当教員名		クラス	開講期	曜日時限		
		授業題目	使用言語			教室割	教室割	
3	19423028 国際機構論	中村 恵 [NAKAMURA Megumi]			春学期	木2		必修
		国際公務員として働く		英語		114		
履修コード	科目名	担当教員名		クラス	開講期	曜日時限		
		授業題目	使用言語			教室割	教室割	
4	19323003 国際政治概論1	篠田 英朗 [SHINODA Hideaki]			春学期	木1		選択
		国際秩序論		日本語		115		
5	19323004 国際政治概論1	武内 進一 [TAKEUCHI Shinichi]			春学期	月1		
		国際協力の史的展開		日本語		オンライン		
6	19323005 国際政治概論1	中谷 純江 [NAKAYA Sumie]			春学期	火4		
		世界の変容と国連		英語		101		
7	19323006 国際政治概論2	谷 一巳 [TANI Kazushi]			秋学期	火4		
		歴史から見た現代の国際社会				115		
8	19323009 国際政治概論2	富田 晃正 [TOMITA Terumasa]			秋学期	月4		
		国際政治経済						
9	19423001 国際政治論1	谷 一巳 [TANI Kazushi]			春学期	月4		
		近代ヨーロッパ国際関係史		日本語		107		
10	19423002 国際政治論1	富田 晃正 [TOMITA Terumasa]			春学期	火3		
		政治経済研究法		日本語		107		
11	19423003 国際政治論2	谷 一巳 [TANI Kazushi]			秋学期	月4		
		現代ヨーロッパ国際関係史		日本語		115		
12	19423004 国際政治論2	富田 晃正 [TOMITA Terumasa]			秋学期	火3		
		アメリカ政治経済論						
13	19423005 国際政治論3	前田 宏子 [MAEDA Hiroko]			春学期	木2		
		戦後中国外交と東アジア情勢		日本語		111		
14	19423006 国際政治論3	石本 凌也 [ISHIMOTO RYOYA]			秋学期	火4		
		日本外交論		日本語		オンライン		
15	19423007 国際政治論4	久住 法子 [KUSUMI Noriko]			秋学期	金4		
		グローバル環境ガバナンス		日本語		オンライン		
履修コード	科目名	担当教員名		クラス	開講期	曜日時限		
		授業題目	使用言語			教室割	教室割	
16	19423046 国際協力論1	松本 勝男 [MATSUMOTO]			春学期	金3		選択
		国際協力と日本の経験		日本語		111		
17	19423047 国際協力論1	加藤 珠比 [KATOH Tamahi]			春学期	木2		
		国際協力論A		英語		オンライン		
18	19423048 国際協力論1	片岡 真輝 [KATAOKA Masaki]			春学期	木1		
		歴史認識論		日本語		104		
19	19423049 国際協力論1	上野 修平 [UENO Shuhei]			春学期	金5		

まずは出てみよう！

春学期 木曜2限

中村恵 (プログラム主担当)  
国際機構論  
「国家公務員として働く」  
(英語・114教室)



東京外国語大学  
Tokyo University of Foreign Studies



卒業生に聞こう！

# 国連本部職員による 講演会

2026年4月16日 木  
11:50-12:30  
本部管理棟2階大会議室

## 国際舞台での実務とキャリア ～外交官、国連～

講演者 山口知也 氏



山口知也(やまぐちともや)氏 プロフィール

国連職員(予算財務オフィサー)。ニューヨークの国連本部において、国連平和維持活動(PKO)の予算編成、国連総会対応に従事。  
北海道出身。2005年、東京外国語大学外国語学部スペイン語卒業。2007年、スペインInstituto Ortega y Gasset(中南米研究)修士課程修了。スペインUniversidad San Pablo CEU(国際関係論)修士課程修了。  
2005年から2022年まで外務省勤務。在スペイン大使館、在ベネズエラ大使館、在コスタリカ大使館、国連日本政府代表部(ニューヨーク)において、外交官として各国との二国間政治・経済・文化関係の促進、対国連外交に従事。東京の外務本省においては、日米安全保障、対中南米外交等に従事した他、公式スペイン語通訳官として天皇陛下、総理大臣、外務大臣の通訳を担当。2022年8月から現職。家族は妻と子供二人。

学内者限定  
事前登録制



予約なしの当日参加も可能

主催 国際社会学部 国連・国際機構教育プログラム  
共催 大学の世界展開力強化事業「太平洋を「架橋」するブリッジ・パーソン養成プログラム(TP-Bridge)」

お問合せ先 松平けあき tenkai-bridge-coordinator@tufs.ac.jp

※昼休み講演会の直後、希望する学生と個別に対話する時間を設けます。  
※同日の2限「国際機構論」(114教室)では山口氏による英語の講義「Careers in Diplomacy and the United Nations: UN Political and Financial Challenges」を行います。事前登録不要で、誰でも聴講可能です。

# 新入生アンケートご協力をお願い

## 新入生アンケート ご協力をお願い

スマートフォン・PC 等の機器を用いて下の QR コードを読み取り、Google Form「新入生アンケート」の質問にお答えください。可能な限り、本日中に回答するようにしてください（※裏面を参照）。



<https://forms.gle/aCznm1nbJZ2gyvUb6>

回答に際しては、本学で交付された TUFS メールアドレス (...@tufs.ac.jp) を使ってください。

なお、本アンケートで得られた結果は、本学の教育内容や入試制度の改善、入試広報に利用させていただきます。

### ■ アンケート回答に際しての注意事項

- ① TUFS メールアドレスを取得するには、オンラインでの アカウント講習会 を受講する必要があります。手順の詳細は、3 月下旬に本学情報企画室よりメールを通じて新入生の皆様にご案内申し上げますので、ご確認ください。
- ② アカウント未取得等の事情により、本日中の回答が難しい場合は、4月5日(土)までに回答にご協力頂きますようお願いいたします。
- ③ QR コードを読み込むと、以下のいずれかの表示となります。
  - ・ Google フォームの回答画面が表示される。:そのまま回答をお願いいたします。
  - ・ Google のログイン画面が表示される。:下記の「TUFS アカウントでの Google ログイン」にしたがってログインし、回答をお願いいたします。
  - ・ 「権限が必要です」と表示される:使用されている Google アカウントをブラウザ上で一旦ログアウトした上で再試行するか、URL をコピーしプライベートウィンドウで開いてください。

### 【TUFS アカウントでの Google ログイン】

右下のログイン画面に遷移した場合、アカウント講習会受講後に配布される「アカウント交付書」に記載の項目をご入力ください



### 【権限が必要ですよと表示された場合】

- ・ 先に大学のアカウント以外で Google にログインしており、そのアカウントの権限でアクセスしているため、アンケートが表示されない状況です。
- ・ 使用されている Google アカウントをブラウザ上で一旦ログアウトした上で再試行するか、フォームのリンクをコピーし、プライベートウィンドウ (シークレットウィンドウ) で開いてください。

# 専攻言語別オリエンテーション

4月1日 (水)

12:30~14:00

場所→

言語文化学部・国際社会学部新生

※各学部の第3年次編入生も希望者は参加することができます

専攻言語、地域基礎の履修方法は  
12:30~のオリエンテーションで説明が  
あります！



オリエンテーションに続き語科別懇談会（教科書の共同購入案内）が始まります。

**専攻言語ロシア語**については、全体のオリエンテーション後に、ロシア地域（107教室）と中央アジア地域（106教室）に分かれて、オリエンテーションを行います。

**オセアニア地域・アフリカ地域**の新生は、引き続き専攻言語英語のオリエンテーションも行います。

専攻言語,地域名	教室
専攻言語英語 (オセアニア地域-アフリカ地域を除く)	101
専攻言語ドイツ語	102
専攻言語フランス語	113
専攻言語イタリア語	103
専攻言語スペイン語	114
専攻言語ポルトガル語	108
専攻言語ロシア語	107
※ロシア語全体の説明終了後、引き続きロシア語 (ロシア地域:107教室)とロシア語(中央アジア地 域:106教室)に分かれてオリエンテーションを行 います。	106と107
専攻言語ポーランド語	104
専攻言語チェコ語	105
専攻言語中国語	227
専攻言語朝鮮語	109
専攻言語モンゴル語	207
専攻言語インドネシア語	110
専攻言語マレーシア語	111
専攻言語フィリピン語	112
専攻言語タイ語	209
専攻言語ラオス語	211
専攻言語ベトナム語	212
専攻言語カンボジア語	213
専攻言語ビルマ語	214
専攻言語ウルドゥー語	218
専攻言語ヒンディー語	219
専攻言語ベンガル語	221
専攻言語アラビア語	223
専攻言語ペルシア語	224
専攻言語トルコ語	225
オセアニア地域	210
アフリカ地域	208